

○成績評価基準について

1. 履修科目ごと前期、後期の定期試験の成績及び実習の成果、出席状況を考慮し総合的に成績評価を行う。
2. 成績は履修科目ごと5段階評価で行う。
3. 科目担当者が複数いる場合は、各担当時間数に応じて平均化したものを評価とする。

(教務規定より)

○進級要件について

各学年において履修科目ごとの成績評価を行い、校長及び教務課による判定会議で成績や出席状況を総合的に判断し進級を決定する。ただし、次号の項目に掲げる基準を満たしているものに限る。なお、進級に必要な単位が取得できていないものは校長及び教務課による会議によって原級留置を決定する。

1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。
2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。
3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。

(教務規定より)

○卒業認定

教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認める。

(学則より)

○学業評価について

各種表彰、特待生、奨学生などの基準については、成績評価や出席状況、GPA評価により対象者を決定する。

GPA (Grade Point Average) について

各科目の単位数×各科目の成績評価（5段階）／総単位数（履修科目単位の総和）